

論文審査の要旨

報告番号	①・乙 第 2902 号	氏名	金子 直美
論文審査担当者	主査 榊 恵子 副査 下司 映一 副査 鈴木 久義		
(論文審査の要旨)			
<p>研究目的は、介護老人保健施設で働く看護師のワーク・エンゲイジメントに着目した職務継続を促進するプログラム開発を目指し、離職意向に影響を及ぼす因子を明確にすることである。</p> <p>概念の属性、選考要件、帰結について概念モデルを作成後、188 施設の介護老人保健施設で働く看護職を対象とした質問紙による調査結果について、離職意向を構成する因果関係を把握するために共分散構造分析を実施した。</p> <p>その結果、モデル図は 4 つの潜在変数と 14 個の観測変数から構成され、適合度指数は GFI=.915、AGFI=.878、CFI=.973、RMSEA=.060 であった。潜在変数間では「ワーク・エンゲイジメントから職務満足」「職務満足から離職傾向」「健康からワーク・エンゲイジメント」「健康から離職傾向」「働く理由からワーク・エンゲイジメント」に因果関係が、「学習ニーズと働く理由」には弱い負の相関が示された。</p> <p>ワーク・エンゲイジメントは間接的に離職意向に、健康観がワーク・エンゲイジメントと離職意向に、働く理由がワーク・エンゲイジメントに影響することが明らかになり、プログラム開発への示唆を得ており、学位に相当すると判定した。</p>			
<p>論文題名：介護老人保健施設で働く看護職の離職意向に影響を及ぼす因子 ーワーク・エンゲイジメントに注目した介入を目指してー</p>			
<p>掲載雑誌名：昭和学士会雑誌 第 77 巻 第 2 号 2017 年掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)